

第158期 報告書

2018年4月1日～2019年3月31日



Oak キャピタル株式会社

Top Message

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また平素より温かいご支援と格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は強靱な投資銀行事業を構築すると共に、金融事業の多角化へ舵を切る経営戦略の一環として、アセットマネジメント会社の買収に続き、2019年3月に証券会社の買収を行いました。これにより当社は投資銀行事業、証券事業、アセットマネジメント事業の3事業分野で幅広いフィナンシャルサービスが行える体制を整えました。

今日、当社を取り巻く環境は世界経済の減速による株式市場の変動や、東京証券取引所が進める上場企業の市場見直しなど、上場企業に求められる企業価値向上の重要性が増す中で、今後、上場企業の資本政策、業界の再編合併、並びにM&Aなど、上場企業の経営戦略に係る投資銀行業務及び証券業務の役割はより一層重要性が増していくこととなります。また日銀のマイナス金利政策により、個人・法人の資金運用難が続く中で、資金運用を行うアセットマネジメント事業分野の市場規模と需要が拡大するとみております。

当社はこれまで独立系投資銀行として、国内外の上場企業向けエクイティファイナンス引受け業務や成長支援投資、事業再生投資などリスク投資を積極的に実施し、一定の成果を収めてまいりましたが、今後は、新興市場や中小型株市場の上場企業に重点を置いて、資本市場の投資銀行業務及び証券業務やM&Aアドバイザーなど企業価値向上に向けたフィナンシャルサービスを行ってまいります。また、証券事業・アセットマネジメント事業では個人・法人向けの資金運用並びに投資ファンド、IPOファンドなどの組成を行い、幅広い分野に対応できる証券、アセットマネジメント機能を持つ投資銀行として展開してまいります。

今後も、当社の経営戦略である成長力・収益力・安定力を強固にし、「企業価値」と「株主価値」をさらに高めてまいります。

今後とも皆様方の一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役会長 兼 CEO 竹井 博康

事業ハイライト

業績サマリー

当期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の個別業績は、営業収入(売上高)21億74百万円(前年同期比61.5%減)、営業損失8億63百万円(前年同期は営業利益15億50百万円)、経常損失7億57百万円(前年同期は経常利益13億80百万円)、当期純損失10億71百万円(前年同期は当期純利益11億12百万円)となりました。純資産は前年同期比19億40百万円減の78億79百万円、総資産は前年同期比21億55百万円減の81億9百万円となりました。

連結業績は、営業収入(売上高)22億30百万円(前年同期比60.6%減)、営業損失9億6百万円(前年同期は営業利益15億49百万円)、経常損失9億57百万円(前年同期は経常利益11億54百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失9億79百万円(前年同期は親会社株式に帰属する当期純利益8億86百万円)となりました。

当期の国内株式市場は、不透明な世界経済や米中間の貿易摩擦などが下げ圧力の大きな要因となり、当下半期にかけて下落に転じ、株価は低迷いたしました。その結果、当社の投資銀行事業においても影響を受けたことから、今期は新規投資並びに投資回収を控える結果となり、当期の業績は前期と比べ大幅な減収減益となりました。

成長戦略

当社の中核事業である投資銀行事業を取り巻く外部環境は、これまで以上に企業価値向上への意識の高まりから、成長および拡大に向けた企業活動が活発化してくるものと思われ、エクイティファイナンスの引受と成長戦略の組み合わせによる当社支援の優位性を活かし、新興市場のみならず全市場を対象に投資テーマを広げ、新規投資案件に積極的に取り組んでまいります。

また、持続的な成長を実現するとともに、安定した収益構造と強固な財務体質を構築するため、事業構造のイノベーションを推進し、投資銀行と証券、アセットマネジメントの3つの事業で展開し、市場から求められ信頼される金融事業グループを目指してまいります。

IR活動

当社事業や投資に対する興味や関心を持っていただくため、機関投資家向けの活動に加え、東京証券取引所主催のIRイベントへの参加出展や、大手メディアとの共催IRイベントなどを通じ、個人投資家との対話の機会創出を図ってまいります。

業績推移 ※個別業績

■ 営業収益(売上高)

(単位:億円)



■ 営業利益

(単位:億円)



■ 純利益

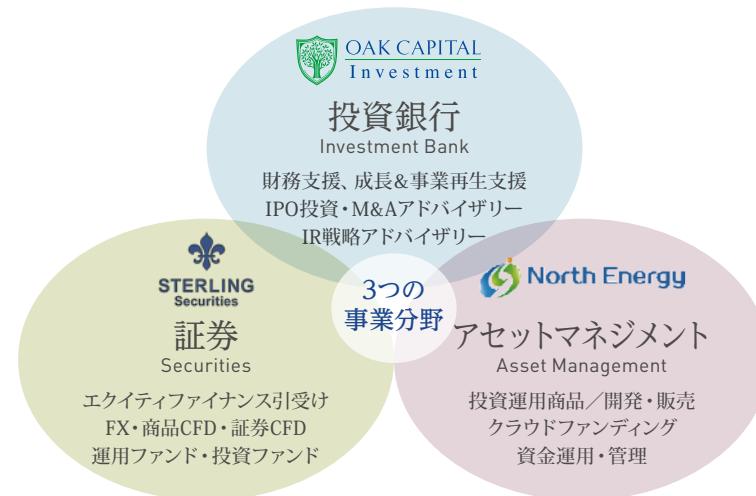
(単位:億円)



金融事業の多角化を推進 総合金融事業グループへ

Oakキャピタルは独立系投資銀行として国内外の上場会社が行う有価証券の発行による資金調達や成長戦略に伴うM&Aや財務戦略の支援と助言を行うなど、重要な役割を果たしてきましたが、市場および社会から信頼され求められる金融グループを目指し、金融事業の多角化を推進しております。

2019年3月	東岳証券(現スターリング証券)を100%買収し証券事業に参入
4月	アセットマネジメント事業を展開する株式会社ノースエナジーを連結子会社化
5月	投資銀行事業・証券事業・アセットマネジメント事業の3事業体制確立



投資銀行事業



Oak キャピタルインベストメント株式会社

所在地 東京都港区赤坂8-10-24 住友不動産青山ビル南館 6F 代表者 代表取締役 槇野 冬樹

当社グループの中核会社として、スターリング証券並びにノースエナジーと連携しながら、投資銀行業務ならびにアセットマネジメント業務を展開してまいります。

投資銀行業務では、新興市場および中小型株市場に上場する企業を対象に、エクイティファイナンス投資業務をはじめ、企業価値向上に向けた様々なアドバイザリーサービスを実施してまいります。

事業内容

■ 投資銀行業務

【上場企業向け投資銀行業務】

- ◆エクイティファイナンス投資業務
- ◆ストラクチャードファイナンス業務
- ◆成長戦略アドバイザリー業務
- ◆事業再生アドバイザリー業務
- ◆財務戦略アドバイザリー業務
- ◆IR戦略アドバイザリー業務
- ◆M&Aアドバイザリー業務
- ◆IPO支援業務

【投資事業】

- ◆IPO投資
- ◆バリューアップ投資

■ アセットマネジメント業務

- ◆投資家向け資産運用
- ◆ノースエナジー向け運用商品の開発
- ◆投資家向け投資ファンドの組成

－ 上場企業に求められる企業価値 －



3事業紹介

証券事業



スターリング証券株式会社

所在地 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル 30階 代表者 代表取締役社長 犬嶋 隆

証券事業に求められる役割は、世界景気の減速リスクや低金利時代においても投資家の求める質の高い金融商品の開発や、安定した運用商品を提供する事であり、それが証券会社の使命です。今後は、証券業務に加え、投資銀行業務、アセットマネジメント業務に拡大してまいります。また、営業面においては国内の投資家、台湾、香港などアジア地域の富裕層向けに金融商品の販売を展開いたします。なお、国内の機関投資家、金融機関向けの資金運用として、欧州の銀行と業務提携の交渉を進めており、海外での運用商品の充実も図ってまいります。

事業内容

■ 投資銀行業務

【上場企業向け投資銀行業務】

- ◆ エクイティファイナンス投資業務 ◆ ストラクチャードファイナンス業務
- ◆ 成長戦略アドバイザー業務 ◆ 事業再生アドバイザー業務
- ◆ 財務戦略アドバイザー業務 ◆ IR戦略アドバイザー業務
- ◆ M&Aアドバイザー業務 ◆ IPO支援業務

【投資事業】

- ◆ IPO投資 ◆ バリュアアップ投資

■ 証券業務

【取扱商品】

- ◆ FX:8通貨、商品CFD:7種類、証券CFD:6種類

【ファンド組成】

- ◆ 成長株ファンド ◆ IPOファンド
- ◆ 自然エネルギーファンド ◆ 事業再生ファンド

【海外業務】

- ◆ 欧州の提携先銀行による資金運用

■ アセットマネジメント業務

- ◆ 投資家向け資産運用 ◆ ノースエナジー向け運用商品の開発
- ◆ 投資家向け投資ファンドの組成

保有ライセンス一覧

第一種金融商品取引業

第二種金融商品取引業

投資助言・代理業

金融先物取引業

商品先物取引業

加入団体一覧

日本投資者保護基金員

日本証券業協会員

日本商品先物取引協会員

第二種金融商品取引業協会員

金融先物取引業協会員

アセットマネジメント事業



所在地 北海道札幌市中央区北4条西4丁目1-3 代表者 代表取締役社長 原 典彦

アセットマネジメント事業として大手信販会社や地域銀行と連携し、全国の個人投資家や法人向けに、太陽光・小型風力による再生可能エネルギー発電システムのパッケージ販売・管理から自社発電所の運用事業を行っております。2019年2月末において全国の個人投資家、法人投資家向けに太陽光発電所を361基、運用しています。今期、投資家向けに新設150基～170基の太陽光・小型風力による再生可能エネルギー発電所の販売を計画。また、本年より当社と共同して商業用不動産、輸送用自動車など、運用投資商品の多角化を展開します。

事業内容

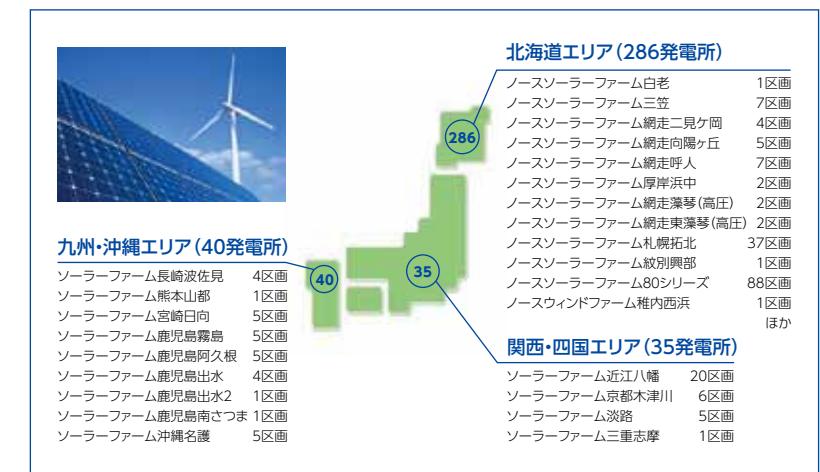
■ アセット投資事業

- ◆ 太陽光発電所の管理運営
- ◆ 投資家向け太陽光、小型風力発電システムのパッケージ販売
- ◆ FinTechプラットフォーム事業・運用アセット商品の開発販売
- ◆ ファンド運用事業

■ コミュニケーション事業

- ◆ 携帯ショップ運営事業
- ◆ モバイル回線販売事業
- ◆ 固定回線販売事業
- ◆ パートナー営業推進事業
- ◆ Wi-Fiレンタルサービス事業
- ◆ インバウンド事業

総販売発電所 - 全国361基 -



連結財務諸表

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (2018年3月31日)	当期末 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産	7,285	6,393
固定資産	2,574	2,104
有形固定資産	313	285
無形固定資産	2	242
投資その他の資産	2,258	1,577
繰延資産	0	-
資産合計	9,860	8,498
負債の部		
流動負債	425	918
固定負債	114	141
負債合計	540	1,059
純資産の部		
株主資本	9,358	7,803
その他の包括利益累計額	△38	△364
純資産合計	9,320	7,439
負債純資産合計	9,860	8,498

Point

資産合計=

当期末の総資産につきましては、前期末と比べ、13億61百万円減少し84億98百万円となりました。これは国内株式市場の低迷から投資回収を控える結果となり、大幅な減収減益となったことから、現預金等が減少したためであります。負債につきましては、前期末と比べ、5億19百万円増加し10億59百万円となりました。増加した主な要因は、東岳証券㈱の連結子会社化により、同社の受入保証金等の負債を取り込んだためであります。純資産につきましては、前期末と比べ、18億80百万円減少し74億39百万円となりました。減少した主な要因は、親会社株主に帰属する当期純損失の計上及びその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (2017年4月1日~ 2018年3月31日)	当期 (2018年4月1日~ 2019年3月31日)
売上高	5,654	2,230
売上総利益	2,804	105
販売費及び一般管理費	1,254	1,012
営業利益又は営業損失(△)	1,549	△906
経常利益又は経常損失(△)	1,154	△957
特別損益(△は損失)	△30	△10
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	1,124	△968
法人税等合計	238	10
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	886	△979

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (2017年4月1日~ 2018年3月31日)	当期 (2018年4月1日~ 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	320	△376
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,064	△481
財務活動によるキャッシュ・フロー	△267	△539
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,022	△1,374
現金及び現金同等物の期首残高	4,745	3,723
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	9
現金及び現金同等物の当期末残高	3,723	2,357

Point

営業活動によるキャッシュ・フロー=

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億76百万円のキャッシュ・アウトフローとなりました。その主な要因は、税金等調整前当期純損失の計上によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー=

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億81百万円のキャッシュ・アウトフローとなりました。その主な要因は、貸付けによる支出及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式(東岳証券㈱)の取得による支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー=

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億39百万円のキャッシュ・アウトフローとなりました。その主な要因は、配当金の支払いによるものであります。

総資産・純資産推移

(単位:百万円)



※2015.3~2016.3は個別

株主還元配当金実績

当社は利益配分の基本方針として、配当性向30%以上を目指し、株主優待を含め株主還元の充実に取り組んでまいります。今後も、配当基本方針に基づき、各ステークホルダーへの適正配分を最重要課題として位置づけております。配当につきましては、経営成績、財政状態及び将来の事業展開に備えるための内部留保も勘案のうえ、継続的に実施できる収益力を確保することに努めます。

	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3
1株当たり配当金	5円	5円	5円	10円	5円
配当性向	13.1%	34.4%	26.6%	48.2%	-

会社概要 2019年4月1日現在

■ 会社概要

商号	Oakキャピタル株式会社
創業	1868年
設立	1918年
資本金	42億82百万円
市場	東証第2部 3113(上場 1949年)
主幹事証券	大和証券
会計監査人	監査法人 日本橋事務所
取引銀行	三井住友銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行

■ 役員

代表取締役 会長兼 CEO	竹井 博康	
取締役	秋田 勉	管理本部長 兼 経理財務部長
取締役	榎野 冬樹	
取締役*1	尾関 友保	元アクセンチュア(株) パートナー
取締役*1	宇田 好文	元(株)NTT ドコモ代表取締役副社長
常務執行役員	木戸 康行	
執行役員	磯村 康典	事業戦略室
執行役員	小玉 誠一	IR・PR室長
常勤監査役	高橋 英也	
監査役*2	坂井 眞	弁護士
監査役*2	廣瀬 元亮	
監査役*2	上野 園美	弁護士・公認会計士

*1. 会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
*2. 会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式の状況 2019年3月31日現在

発行可能株式総数…………… 150,000,000 株
発行済株式の総数…………… 53,675,037 株
株主総数…………… 24,017 名

大株主 上位 10名

株主名	所有株式数	持株比率
竹井博康	1,909千株	3.56%
個人株主	1,635	3.04
協和青果株式会社	1,160	2.16
個人株主	1,071	1.99
個人株主	660	1.23
野村信託銀行株式会社(投信口)	601	1.12
個人株主	600	1.11
松井証券株式会社	558	1.04
上田八木短資株式会社	476	0.88
個人株主	375	0.70

注)持株比率は、自己株式(38,090株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
配当金受領株主確定日 3月31日及び中間配当金の支払いを行うときは9月30日
株主名簿管理人 〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号
株式会社アイ・アール ジャパン
電話0120-975-960(通話料無料)

- 住所変更、単元未満株式買取・買増等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 株主様のご住所・お名前に関する文字についてのご案内
株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株主優待について

マカニゴルフクラブ無料プレー

- 期間内に2回ご利用可能です。(2020年6月末迄)
- 1回につき4名様まで無料でご利用いただけます。(1,080 USドル相当)
- 優待券は発行いたしません。9桁の株主番号をご確認の上、公式Webよりご予約ください。
<https://www.bicc-jp.com/>



マカニゴルフクラブとは

当社が保有するハワイ島のゴルフリゾートで、自然豊かなコースは大変美しく、年間を通じて快適なプレーが楽しめます。



第158期(2019年4月1日現在) 期末配当金計算書

項目	金額	比率
発行済株式数	53,675,037株	
期末配当金	1,080,000,000円	2.01%
期末配当金	1,080,000,000円	2.01%

2019年6月26日

株主番号: 000000000

● 株主番号をご確認ください。

クリストフル特別優待券

- 2019年9月に新規開店予定の店舗および、同店舗専用ECサイトでご利用可能な株主様限定の特別優待券

クリストフルとは

創業1830年、フランスの銀製品最高級ブランド。伝統的なトラリーに加え、モダンなジュエリーやアクセサリーも豊富に取り揃えております。



対象となる株主様

2019年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上を保有する株主の皆様を対象として、株主優待を実施いたします。

実施時期

2019年6月下旬を予定しております。
※クリストフル特別優待券につきましては、別途、お知らせいたします。

IRサイト紹介



URL: <https://www.oakcapital.jp/ir/>

または

Oakキャピタル IR

検索

で検索してください。

投資家情報



Oak キャピタル株式会社 証券コード: 3113

<https://www.oakcapital.jp/>

〒107-0052 東京都港区赤坂八丁目10番24号 住友不動産青山ビル南館6F
本 社 TEL.03-5412-7474 FAX.03-5412-8282
投資銀行本部 TEL.03-5412-7700 FAX.03-5412-8811



Facebook

<https://www.facebook.com/oakcapital.jp>